

主題や題材の内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校 2学年 <光村図書 版>

【主題名】 「共に生きる」（4時間扱い）

使用教材：「こまっている子がいるよ」「一枚の絵」「およげないりすさん」「ありがとうの手紙」

【養う道徳性 ※関連する内容項目等】

- ・身近にいる人に温かい心で接し、親切にし、相手からの温かな関わりに対して素直に思いを伝えようとする道徳的実践意欲を養う。
- ・ B 親切, 思いやり B 感謝 C 公正, 公平, 社会正義

【主な学習活動と留意点】

児童の実態 ※肯定的な面やそれを更に伸ばしていこうとする観点からの積極的な捉え方  
 見た目で困っていることが分かる仲間を助けたいと考え、行為に移せる子ども。相手を思いやるとは積極的に相手に接することであると考える子ども。

働かせる見方・考え方：様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること

	学習活動	配慮点（各教科等、体験活動等との関連）
問題意識を共有する  自分自身との関わりで・ 多面的・多角的に考える  生き方を考え深める	1 教材名「こまっている子がいるよ」 B親切, 思いやり (5月) 中心的な発問 あなたがこまっている子だったら、仲間にどんなことをしてほしいですか？ 役割演技の工夫 話合いの工夫 主題「自分も相手もうれしくなるためには？」設定	「こまっている子」を役割演技で演じ、その時に感じたことを伝えることで相手の立場になって考えることの大切さを感じ得できるようにする。 学級活動 (2) イよりよい人間関係の形成
	2 教材名「一枚の絵」 B思いやり, 親切 (9月) 中心的な発問 「ちゅういされていなかったら何も気づかないままだろう」と言うおとうさんの話を聞いたときのぼくはどんな気持ちだったろう？ 話合いの工夫	今までの様々な関わりを振り返り、注意や指摘も自分を思いやっている行為の表れであることを理解できるようにする。 学級活動 (1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
	3 教材名「およげないりすさん」 C公正, 公平, 社会正義 (11月) 中心的な発問 みんなと仲良くすることは、なぜ大切なのだろう？ 役割演技の工夫 話合いの工夫	役割演技で実感した思いを語る中で違いを認めみんなで過ごすことのよさを実感できるようにする。 生活 [身近な人々, 社会及び自然と関わる活動]
	4 教材名「ありがとうの手紙」 B感謝 (2月) 中心的な発問 学級の仲間との関わりの中でうれしかったことはなかったかな？ 話合いの工夫 主題「自分も相手もうれしくなるためには？」を自己評価	仲間に「ありがとう」を伝える場を設けることで、自分も相手もうれしくなるために大切なことを実感する。 生活 [自分自身の生活や成長]

次学年へのつながり（児童に願う姿）  
 相手の思いをさらに慮れるようになり、自他にとってよりよい行為をしたいという意欲が高まる。